

令和7年度 産業廃棄物税充当事業 実績報告書

事業名：	循環型社会に貢献できる産業人材育成事業（白石工業）
事業実施期間：	平成29年度から令和7年度
担当課室名：	高校教育課
担当班名：	キャリア教育班
TEL：	022-211-3625
e-mail：	ko-career@pref.miyagi.lg.jp
URL：	https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/koukyou/car-top.html

1 事業の目的

産業廃棄物の再利用・有効利用を含めた、循環型社会に貢献できる技術者・技能者を育成するとともに、木造建築物解体時に排出される構造材の有効活用法を検討する。

2 当該年度の実施事業の概要・実績

- ・各種廃材を活用し、木工製品の制作に関する学習をし、実際に設計・製作を行った。循環型社会の実現に向け、諸施設（産業廃棄物の処理状況等）の見学を通して、ものや資源について考える機会を設けた。
- ・全日本こけしコンクールなどの各種イベントに参加し、廃材を使用した作品を展示するとともに、来場された方々に廃材を活用したもののづくりを体験してもらい、環境について考える機会を設けた。
- ・過年度に引き続き、木製玩具、組子作品、木製収納ベンチなどの作品製作を行った。

<今年度の製作物>

地域の保育園児用の木製玩具製作（7作品・贈呈先：遊びの森）

キッチンセット、釣りおもちゃセット、遊びの箱

くるまくるん、お絵描きテーブル、平均台修繕、パズルおもちゃ修繕

木製の長椅子（9台）

木製踏み台（37台）

茶道部の収納棚（1台）

木製メモスタンド（100個）

木製カレンダー（50個）

山岳部の収納ボックス（2台）

伝統工芸『組子』の技法を活用した時計製作（5作品・贈呈）

組子コースター（13枚）

（寄贈先：白石中学校、白石東中学校、増田中学校、村田第二中学校）

ものづくりコンテスト、技能検定練習材料への転用

（廃棄木材を加工して練習材として再利用）

- ・実施にあたり宮城県建設業組合、地元工務店（大工）、設計事務所（建築士）、木工建具職人と連携し、専門的知識の学習と作業体験及び技術・技能の指導をとおり、循環型社会に貢献できる人材の育成を行った。

3 当該年度の実施事業の成果

- ・廃材を活用した木製玩具等は白石市内の保育園（遊びの森）に寄贈、組子時計は制作生徒の出身中学校に寄贈した。制作したものを各々の場所で利用していただくことで、ものづくりの果たす役割を理解するとともに地域社会への貢献が図れた。
- ・廃材を活用した木製メモスタンドキッドを製作し、文化祭や各種イベントにおいて体験コーナーを運営したり、製作物を来場者にプレゼントした。生徒は廃材が自分達のものづくり活動によって再び活用できることを学ぶことができた。

- ・ものづくりコンテストや技能検定において、廃材を再加工することで練習に必要な材料を多数用意し、練習回数を十分に確保できた。
- ・循環型社会の形成に関する課題解決型学習として、施設見学や専門技術者を講師として招いた実践的な学習を通し、地球環境に配慮した産業活動に関与できる人材の育成が図られた。
- ・本事業を通して地域の各種団体や企業との連携・協力体制が構築できた。

4 今後の展開

- ・本事業を通して地域の各種団体や企業と構築した連携・協力体制を活用して、専門的技術指導の講師確保と解体材料の提供や各種現場見学・実習場所等を確保するために、今後も学校と地域連携・協力体制を維持していくことが継続的な人材育成を図るために必要である。
- ・解体木造住宅からの解体材の継続的な確保が必要である。将来的には再利用可能な材料としてストックし、新築・改築材料として供給できるよう関係機関と検討が必要である。
- ・汎用性の高いより簡便なものも製作できるように、計画段階から配慮と工夫をしていく必要がある。

5 廃棄物の削減・リサイクル、適正処理の促進の効果等を示す指標の数値

(指標：関連授業等指導時間数) 単位：時間

令和5年度	令和6年度	令和7年度
266	219	201

6 事業費の推移

単位：千円

令和5年度	令和6年度	令和7年度
2,407	2,498	2,126